

2019年度 東ブロック審判トレセン 報告

日 時	2019年11月30日(土) 9:00~16:30	
場 所	西宮市立西宮浜小学校(ランチルーム・体育館)	
参加者 (敬称略)	審判員	古江・松浦・古本・石田・松井・福田・松本・清・坂本(3級)・藤田・小園・大槻(4級)
	INS	佃・渡辺・川瀬(2級)・玉川・徳澤・瀬野・塚本・田原・山本・井上(3級)・橋本(元3級)・福井(R2級)
	スタッフ	松山・村田・川島・柴田・梶山
テーマ	副審	

報 告

<講義1>第6条「その他審判員」(徳澤氏)

<講義2>第9条「ボールインプレーおよびアウトオブプレー」(川瀬氏)

<講義3>第11条「オフサイド」(井上氏)



午前中の講義は、兵庫県インストラクタートレセンに参加しているインストラクターが中心に実施。資格を取得する際の講習会以外にこのような講義を受講したことがない審判員が殆どであったと思われるが、多数の質問が出た。また、インストラクターが回答をするのではなく審判員から回答を引き出すディスカッション形式を中心の講義となった。競技規則を一度も見ることが無い審判員もいたが、競技規則の理解が重要なことに気付いたと思われる。

<トレーニング&プラティカル>

プラティカル1：オフサイドの見極め

プラティカル2：ゴール、タッチアウトの見極め



午後は、プラティカルの前にウォーミングアップを兼ねて川瀬氏によるトレーニングを実施。日頃のトレーニング不足を感じた参加審判員もいたと思われる。体育館での実施となったプラティカルは、広さなどの関係もあり事前に考えていたことを修正することになったが、これも臨機応変に対応することの必要性を感じた。

<まとめ>

審判員 12 名、INS17 名（スタッフ含む）の 29 名参加となった。3、4 級で経験の少ない審判員を中心に各都市協会で行った。また、雨天時を考慮して室内開催としたため、試合形式の実践をすることが出来なかったが、基礎的なことは学ぶことが出来たと思われる。

インストラクターからは、審判員に対して 1 日の振り返りに工夫が必要との意見も出た。また、プラティカル時に指導すべきことの切り分けも必要との意見も出た。

振り返りでは、参加審判員からの声が多かったことから、今回のトレセンを評価してもらうことにした。評価結果（10 点満点）は、講義 1=8.9、講義 2=9.2、講義 3=8.6、プラティカル 1=7.8、プラティカル 2=9.4。

今後も開催することを前提に尼崎協会（2020 年度）、北摂協会（21 年度）、丹有協会（22 年度）の順で決定した。